

健康支援と社会保障制度

健康支援と社会保障制度

目標 I. 人間の社会的側面について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 生活基盤	A 生活単位	a 人口動向(少子高齢化、総人口の減少)	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-2 「平均寿命と出生」 (p.108~110)、E-1 「少子高齢化」 (p.126~128)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-1-1 「国民経済の現状」 (p.40~43)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-2-1 「出生に関する動向」 (p.59~65)</p> <p>公衆衛生 : 第 6 章 B-3 「健康指標の基礎資料——人口を把握する」 (p.135~138)、第 7 章 A-1-3 「日本の少子化対策」 (p.155)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-1 「人口の変化」 (p.30~35)</p>
		b 家族(世帯)	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 C-2-1 「看護の対象としての家族」 (p.88~90)、第 3 章 D-7 「家族」 (p.116~118)</p> <p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第 1 章 B-1 「家族の理解」 (p.33~38)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.34~35)、第 3 章 H 「家族支援」 (p.136~140)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 3 章 B-2-1 「家族の発達段階」 (p.130~133)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 B 「成人保健」 (p.172~175)、B-7 「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」 (p.189~191)</p> <p>社会学 : 第 11 章 D 「結婚と家族」 (p.180~183)、E 「保健医療からみた結婚と家族」 (p.183~186)</p> <p>家族論・家族関係論 : 第 1 章 A 「家族を巡る基本概念」 (p.2~3)</p>
		c ライフサイクル	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 B-2 「心理・社会的側面における発達」 (p.81~86)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 3 章 B-1 「現代女性のライフサイクル」 (p.125~130)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 B 「成人保健」 (p.172~175)、B-7 「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」 (p.189~191)</p> <p>家族論・家族関係論 : 第 6 章 B 「家族発達段階論」 (p.177~184)</p>
	B 家庭生活の基本機能	a 生産・労働	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.34~35)、第 3 章 H 「家族支援」 (p.136~140)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.37~39)、A-4 「経済状況の変化」 (p.39~41)、A-5 「雇用状況の変化」 (p.42~44)</p> <p>家族論・家族関係論 : 第 4 章 C 「職場と家族」 (p.112~123)</p>
		b 教育・養育	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.34~35)、第 3 章 H 「家族支援」 (p.136~140)</p>
		c 保健・福祉	<p>総合医療論 : 第 3 章 B 「私たちの生活と環境衛生、保健・福祉行政」 (p.70~72)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 2 章 B-2 「保健医療の動向」 (p.47~48)、B-3 「社会福祉の動向」 (p.48~50)</p>
		d 生殖	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-5 「結婚と出産」 (p.113~114)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 慰安・交流	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 H「家族支援」(p.136~140) 基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-2-1「看護の対象としての家族」(p.88~90)
	C 生活の場と健康	a 都市と農・漁村(人口集中と過疎化)	公衆衛生 : 第2章 C「社会集団をとらえる視座」(p.50~59) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-2「地域社会の変化」(p.35~36)
		b 住居	在宅看護論 : 第4章 B-2-4「住環境に関するアセスメント」(p.77~80)
	D 労働と健康	a 就業構造	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31~33) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-4「経済状況の変化」(p.39~41)、A-5「雇用状況の変化」(p.42~44) 社会学 : 第7章 A「『働き方』と『働かせ方』」(p.106~111)
		b 労働時間	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-4「自殺・職業性疾患・作業関連疾患」(p.54~56) 社会学 : 第7章 B「『働き方』『働かせ方』による健康への影響」(p.111~114)、D「仕事と生活の調和」(p.117~120) 家族論・家族関係論 : 第4章 C-2「長時間労働と遠距離通勤」(p.113~115)
		c 仕事と余暇	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-2-3「ワークライフバランス」(p.33~34) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-5-4「仕事と余暇ワーク・ライフ・バランス」(p.44)
		d 所得	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1「国民経済の現状」(p.40~43) 在宅看護論 : 第4章 B-2-7「経済力のアセスメント」(p.87) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-4「経済状況の変化」(p.39~41) 社会学 : 第6章 B-1「経済的状態」(p.92~94)
2 ライフスタイル	A 家族の機能と役割	a 夫婦の役割機能の変化	公衆衛生 : 第7章 B「成人保健」(p.172~175)、B-7「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」(p.189~191) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37~39) 社会学 : 第11章 D-2「わが国における結婚と家族の変化」(p.181~183) 家族論・家族関係論 : 第2章 C「夫と妻の役割と常識」(p.41~50)
		b 家族内介護者の変化	老年看護学 : 第7章 C-1「介護を必要とする高齢者を含む家族への看護」(p.360~368) 総合医療論 : 第3章 D-5「高齢者介護をめぐる問題点」(p.82~85) 公衆衛生 : 第7章 C-7-6「介護者の健康、虐待予防」(p.204~205) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37~39)、第4章 A-1「介護保険制度創設の背景」(p.88) 社会学 : 第11章 B「ジェンダーとケア役割」(p.175~179) 家族論・家族関係論 : 第5章 B「家族の介護機能の揺らぎと支援」(p.144~149)
		c 育児と介護の社会化	総合医療論 : 第3章 D「少子高齢化社会と世代間のきずな」(p.77~85)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 家事機能の変化	<p>公衆衛生：第7章 A-4「育児支援のための母子保健活動」(p.160～164)、A-7「地域の母親によるエンパワメント」(p.169～171)、C-7「高齢者保健の課題」(p.200～205)、C-8「地域コミュニティによる支えとは」(p.205～207)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37～39)、第4章 A-1「介護保険制度創設の背景」(p.88)</p> <p>家族論・家族関係論：第3章 A「ペアレンティングとは」(p.64～71)、第4章 D「高齢化社会と少子化」(p.123～135)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37～39)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章 A「家族の生活文化」(p.98～105)</p>
	B ライフスタイルの変化	a 雇用労働者化の進行	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31～33)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 A-4-2「産業構造の変化」(p.40)</p> <p>社会学：第7章 A-2「わが国における変化」(p.108～110)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章 C「職場と家族」(p.112～123)</p>
		b 女性労働の変化	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31～33)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37～39)、A-5「雇用状況の変化」(p.42～44)</p> <p>社会学：第7章 A-2「わが国における変化」(p.108～110)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章 C「職場と家族」(p.112～123)</p>
		c 少子化	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 D-5「結婚と出産」(p.113～114)、E-1「少子高齢化」(p.126～128)</p> <p>公衆衛生：第7章 A-1-3「日本の少子化対策」(p.155)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 A-1-2「人口動態および人口構成の変化」(p.30～35)、第7章 C-3-1「少子化の課題と家族」(p.206～207)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章 D-3「少子化」(p.133～135)</p>
		d 健康寿命の延長	<p>公衆衛生：第6章 B-2-1「平均寿命、平均余命、健康寿命」(p.131～132)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 A-1-2「高齢者の健康」(p.164～165)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章 D「高齢化社会と少子化」(p.123～135)</p>
		e 余暇時間	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2-3「ワークライフバランス」(p.33～34)</p> <p>老年看護学：第2章 A-5「高齢者の暮らし」(p.30～35)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 A-5-4「仕事と余暇ワーク・ライフ・バランス」(p.44)</p>
		f 生涯学習	<p>老年看護学：第2章 A-5「高齢者の暮らし」(p.30～35)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 A-2-5「高齢者の健康増進と社会参加促進対策」(p.168)</p>
		g 地域活動への参加	<p>老年看護学：第2章 A-5「高齢者の暮らし」(p.30～35)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 A-2-5「高齢者の健康増進と社会参加促進対策」(p.168)</p>
		h 家族観の多様化	<p>社会保障・社会福祉：第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37～39)</p> <p>社会学：第11章「性・ジェンダー・家族と保健医療」(p.172～187)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 生活習慣の確立	a 生活習慣病の概念	<p>家族論・家族関係論：第1章C「家族の変貌」(p.5～12)、D「わが国における家族の変貌」(p.12～19)、第4章A「家族の生活文化」(p.98～105)</p> <p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章B-4-2「生活と疾病・障害の予防」(p.100～101)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-2-3「生活習慣病」(p.51～53)</p> <p>総合医療論：第3章C-3「生活習慣と病気」(p.75)</p> <p>公衆衛生：第7章B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)</p> <p>社会保障・社会福祉：第8章F-1-2「疾病構造の変化とケアからケアの医療へ」(p.244)</p>
		b 発達課題別生活習慣	看護学概論：第2章B-2「心理・社会的側面における発達」(p.81～86)
		c セルフケアの確立	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第7章B「慢性病患者のたえまない取り組み—セルフケア」(p.211～213)、C「慢性病との共存の過程を支える看護」(p.213～219)、第11章A-4「主体的な治療・療養行動の促進」(p.279～284)</p> <p>社会保障・社会福祉：第8章G-2-2「傷病に伴う患者・家族の生活問題」(p.252～254)</p>
3 人間の集団としての働き	A 集団の形成・発達	a 集団の凝集性	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章C-1「集団(グループ)の持つ意味」(p.101～103)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第3章B-1「集団のなかの自己」(p.119～120)、B-2「グループプロセス」(p.120)</p> <p>社会保障・社会福祉：第8章C「集団援助技術(グループワーク)」(p.230～236)</p> <p>社会学：第1章C「集団・組織・ネットワーク」(p.15～17)</p> <p>人間関係論：第4章A-2「集団のなかでの行動パターン」(p.77～82)</p>
		b 集団の意思決定	<p>社会保障・社会福祉：第8章C「集団援助技術(グループワーク)」(p.230～236)</p> <p>人間関係論：第4章A-2-5「集団目標」(p.80～81)</p>
		c グループダイナミクス	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章C-1「集団(グループ)の持つ意味」(p.101～103)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第3章B-3「全体としてのグループ」(p.120～124)</p> <p>社会保障・社会福祉：第8章C「集団援助技術(グループワーク)」(p.230～236)</p> <p>人間関係論：第4章A-2-4「レヴィンのグループダイナミクス研究」(p.79～80)</p>
	B 地域における人間関係	a 親族、近隣、交際のネットワーク	<p>公衆衛生：第2章A「自分の生活と健康に関する社会集団」(p.45～47)</p> <p>社会保障・社会福祉：第8章H-3「地域ケアシステムにおける他機関との連携」(p.256～257)</p> <p>社会学：第12章「地域社会と保健医療」(p.190～202)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章B「地域と家族」(p.105～112)</p>
		b 地域のソーシャルサポートネットワーク	<p>公衆衛生：第3章D「住民との協働」(p.78～79)</p> <p>社会保障・社会福祉：第8章H-3「地域ケアシステムにおける他機関との連携」(p.256～257)</p> <p>社会学：第12章「地域社会と保健医療」(p.190～202)</p> <p>人間関係論：第10章「ソーシャルサポートをめぐる人間関係」(p.212～231)</p> <p>精神保健福祉：第4章A-2「精神保健福祉に関する支援システム」(p.73～81)</p>
		c 学校における人間関係	公衆衛生：第8章A「学校における健康とは」(p.278～279)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 職場における人間関係	a 組織の中での役割	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 D-3 「組織」 (p. 260~267) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 5 章 C 「組織の調整」 (p.197~210) 社会学 : 第 7 章 C 「健康に影響を与える職場の要因」 (p.114~117)
		b 上司との関係	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 4 章 D-4 「リーダーシップとフォロワーシップ」 (p.267~270) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 5 章 C 「組織の調整」 (p.197~210) 社会学 : 第 7 章 C 「健康に影響を与える職場の要因」 (p.114~117)
		c 同僚との関係	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 D-3 「組織」 (p. 260~267) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 5 章 C 「組織の調整」 (p.197~210) 社会学 : 第 7 章 C 「健康に影響を与える職場の要因」 (p.114~117)

目標Ⅱ. 社会保障の理念と制度及び法律に基づく社会福祉の方法と課題について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 社会保障の理念	A 日本の保健医療福祉活動の基本方向	a 概念、目的、機能、体系、内容	総合医療論 : 第 1 章 B 「健康とは」 (p.19~23) 社会保障・社会福祉 : 第 1 章 A 「社会保障制度」 (p.2~12) 社会学 : 第 13 章 「保健医療制度」 (p.206~217)
		b 人権、日本国憲法第 25 条	公衆衛生 : 第 1 章 C-3 「日本国憲法のなかの公衆衛生」 (p.30~31)、C-4 「日本国憲法と世界人権宣言における健康と人権」 (p.31~32)、第 2 章 B-1 「看護職は「みんな」の権利をまもる守護神の 1 人」 (p.47~48) 社会保障・社会福祉 : 第 1 章 A-1 「社会保障の概念」 (p.2~4) 看護関係法令 : 第 1 章 D 「厚生行政のしくみ」 (p.14~19)
		c 倫理	総合医療論 : 第 5 章 D 「生命倫理学と臨床倫理学の展開」 (p.122~127) 公衆衛生 : 第 2 章 B-2 「万国共通の看護職の公的責任」 (p.48~49) 社会保障・社会福祉 : 第 1 章 A-1 「社会保障の概念」 (p.2~4)、A-2 「社会保障の目的」 (p.4)
		d ノーマライゼーション	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-4 「福祉にかかわる対策—地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.77~81) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 B-5 「精神保健福祉の現在と今後」 (p.287~288) 総合医療論 : 第 3 章 E 「障害者のノーマライゼーションと社会的包摂」 (p.85~89) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-2-1 「ノーマライゼーション」 (p.176~177) 社会学 : 第 12 章 E 「ノーマライゼーションと地域」 (p. 201~202) 人間関係論 : 第 11 章 「ノーマライゼーションをはぐくむ人間関係」 (p.234~253) 精神保健福祉 : 第 1 章 A 「人は人に支えられながら生きている」 (p.3)
		e 情報公開、地方分権、参加	総合医療論 : 第 5 章 G 「インフォームド・コンセントと医療情報の開示」 (p.132~138) 公衆衛生 : 第 3 章 B-2 「地方自治体レベル」 (p.71~72)、D 「住民との協働」 (p.78~79)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		f 社会保障給付費	社会保障・社会福祉：第2章 A-2-3「地方分権の動向」(p.36)
		g 社会保障制度改革	社会保障・社会福祉：第1章 A-6「社会保障給付費」(p.10~11) 社会保障・社会福祉：第2章 B「社会保障・社会福祉の動向」(p.44~50)
5 社会保険制度	A 社会保険の変遷	a 歴史、意義	社会保障・社会福祉：第1章 A-4-1「社会保険」(p.5~6)
		b 国民皆保険・皆年金	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-3-1「医療保険制度」(p.243~245) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章 D「医療制度」(p.173~182) 社会保障・社会福祉：第3章 A「医療保障制度の沿革」(p.52~55)、B-2「わが国の医療保障制度の特徴」(p.57~60)、第5章 B-4-1「国民皆年金までの道のり」(p.130)
	B 医療保険制度	a 健康保険、国民健康保険と高齢者の医療制度	在宅看護論：第3章 A「在宅看護のしくみ」(p.40~58)、付章 C「関係法令」(p.384~388) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章 D-1「医療保険制度」(p.173) 社会保障・社会福祉：第3章 B-2「わが国の医療保障制度の特徴」(p.57~60)、C「健康保険と国民健康保険」(p.60~71)、D「高齢者医療制度」(p.71~78) 看護関係法令：第7章 A-1「健康保険法」(p.201~205)、A-2「国民健康保険法」(p.206~207)、A-3「高齢者の医療の確保に関する法律」(p.207~209)
		b 保険給付と利用者負担	社会保障・社会福祉：第3章 C-2「給付と患者負担」(p.65~69) 看護関係法令：第7章 A「費用保障」(p.201~209)
		c 医療保険の財政	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-3「看護サービスと経済のしくみ——診療報酬と人員配置」(p.243~247) 社会保障・社会福祉：第3章 C-3「費用負担」(p.69~71)、D-4-3「費用負担」(p.76~78)
		d 保険診療の仕組み	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-3「看護サービスと経済のしくみ——診療報酬と人員配置」(p.243~247) 社会保障・社会福祉：第3章 E「保険診療のしくみ」(p.78~81)
		e 公費負担医療	在宅看護論：第3章 A「在宅看護のしくみ」(p.40~58)、付章 C「関係法令」(p.384~388) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.81~82)
		f 国民医療費	社会保障・社会福祉：第3章 G「国民医療費」(p.82~85)
		g 診療報酬制度	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-3「看護サービスと経済のしくみ——診療報酬と人員配置」(p.243~247) 社会保障・社会福祉：第3章 E「保険診療のしくみ」(p.78~81)
	C 介護保険制度	a 制度の基本理念	老年看護学：第2章 B-2-2「介護保険制度の整備」(p.39~50) 在宅看護論：第3章 A-3「介護保険制度」(p.44~50)、付章 C-4「介護保険法」(p.386) 社会保障・社会福祉：第4章 B-1「制度の基本理念」(p.93)
		b 保険者・被保険者	看護関係法令：第7章 A-4「介護保険法」(p.209~216) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77~81)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 要介護・要支援の認定	在宅看護論：第3章 A-2-1「介護保険の被保険者」(p.45) 社会保障・社会福祉 ：第4章 B-2「保険者」(p.93～94)、B-3「被保険者」(p.94～95) 看護関係法令 ：第7章 A-4-1「保険者等」(p.209～210)、A-4-2「被保険者」(p.210) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) ：第2章 B-1-4「福祉にかかわる対策—地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77～81) 在宅看護論：第3章 A-2-2「介護サービスの利用」(p.45～47) 社会保障・社会福祉 ：第4章 B-4「要介護・要支援の認定」(p.95～96) 看護関係法令 ：第7章 A-4-4「要介護認定および要支援認定」(p.213～214) 精神保健福祉 ：第6章 B-3「介護サービス利用時の連携と看護」(p.183～186)
		d 保険給付と利用者負担	在宅看護論：第3章 A「在宅看護のしくみ」(p.40～58)、第4章 B-2-5「社会資源に対するアセスメント」(p.80～82)、付章 C-2「訪問看護に係る法令」(p.385～388) 社会保障・社会福祉 ：第4章 B-5「保険給付」(p.96～107) 看護関係法令 ：第7章 A-4「介護保険法」(p.209～216)
		e ケアマネジメント	在宅看護論：第3章 A-2「ケアマネジメントの概念と機能」(p.42～44)、第4章 B-2-5「社会資源に対するアセスメント」(p.80～82) 社会保障・社会福祉 ：第4章 B-5-6「居宅介護支援と介護予防支援」(p.100)、第8章 D-2-2「ケアマネジメント」(p.237～238)
		f 介護保険の財政	在宅看護論：第3章 A「在宅看護のしくみ」(p.40～58) 社会保障・社会福祉 ：第4章 B-6「介護保険の財政」(p.107～111)
		g 介護保険事業計画	在宅看護論：第3章 A「在宅看護のしくみ」(p.40～58) 社会保障・社会福祉 ：第4章 B-7「介護保険事業計画など」(p.112～113)
	D 年金制度	a 制度の体系	社会保障・社会福祉 ：第5章 B「年金保険制度」(p.121～133)
		b 給付と費用負担	看護関係法令 ：第7章 B「年金」(p.216～218) 社会保障・社会福祉 ：第5章 B-3「わが国の年金保険制度のしくみ」(p.123～130)
	E その他の社会保険制度	a 雇用保険法	社会保障・社会福祉 ：第5章 D-1「雇用保険制度」(p.136～139) 看護関係法令 ：第9章 A-4「雇用保険法」(p.251)
		b 労働者災害補償保険法	社会保障・社会福祉 ：第5章 D-2「労働者災害補償保険制度」(p.139～142) 看護関係法令 ：第9章 A-3「労働者災害補償保険法」(p.250～251)
6 社会福祉に関する法律の理念と施策	A 社会福祉の理念と変遷	a 措置制度から選択、利用制度へ	社会保障・社会福祉 ：第1章 B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15～18)、第2章 B-3-1「社会福祉基礎構造改革」(p.48～49)
		b 利用者保護の制度	社会保障・社会福祉 ：第2章 B-3-1「社会福祉基礎構造改革」(p.48～49)
	B 生活保護法と施策	a 生活保護の基本原則と実施の原則	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) ：第6章 E-2-2「生活保護法」(p.316) 社会保障・社会福祉 ：第6章 B-1「生活保護制度の目的・原理・原則」(p.146～148) 看護関係法令 ：第8章 A-2「生活保護法」(p.223～225) 精神保健福祉 ：第8章 A-2「貧困・低所得に対する社会補償制度」(p.246～248)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 実施機関	<p>社会保障・社会福祉：第6章 B-5-4「生活保護の実施過程」(p.156)</p> <p>看護関係法令：第8章 A-2「生活保護法」(p.223~225)</p> <p>精神保健福祉：第8章 A-2「貧困・低所得に対する社会補償制度」(p.246~248)</p>
		c 扶助の種類と内容	<p>社会保障・社会福祉：第6章 B-2「生活保護の種類と方法」(p.148~153)</p> <p>看護関係法令：第8章 A-2「生活保護法」(p.223~225)</p> <p>精神保健福祉：第8章 A-2「貧困・低所得に対する社会補償制度」(p.246~248)</p>
	C 障害者(児)にかかわる法と施策	a 障害者基本法	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-4「福祉にかかわる対策—地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77~81)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-1-2「法律によって障害者の位置づけもかわる」(p.300~302)</p> <p>公衆衛生：第7章 F-1「障害・難病とは」(p.234~236)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 B-3-4「障害者基本法の改正」(p.181~182)、B-4-1「障害者基本法の抜本的改正」(p.183~184)</p> <p>看護関係法令：第8章 D-1「障害者基本法」(p.234)</p> <p>リハビリテーション看護：第1章 B-1-2「障害者基本法」(p.8)</p>
		b 障害者総合支援法(旧障害者自立支援法)	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-4「福祉にかかわる対策—地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77~81)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-2「障害者総合支援法における通院医療費」(p.313)、E-3「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.318~320)、[資料3]「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(抄)」(p.343~346)</p> <p>在宅看護論：第4章 B-2-5「社会資源に対するアセスメント」(p.80~82)、付章 C-2-5「公費負担医療」(p.387)</p> <p>公衆衛生：第7章 D-2-2「地域での生活を支える制度」(p.213~215)、F-2「障害者支援活動の理念と法的根拠」(p.237~239)、F-3「地域支援システム」(p.239~249)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.184~188)</p> <p>看護関係法令：第8章 D-2「障害者の日常及び社会生活を総合的に支援する法律」(p.235~238)</p> <p>リハビリテーション看護：第1章 B-1-6「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.9)</p> <p>精神保健福祉：第3章 A-2「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.47~55)</p>
		c 身体障害者福祉法	<p>社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法—身体障害者福祉法」(p.21)、第7章 B-3-1「障害者福祉制度の成立と障害種別の格差」(p.179~180)</p> <p>看護関係法令：第8章 D-3-4「身体障害者福祉法」(p.239~241)</p> <p>リハビリテーション看護：第1章 B-1-3「身体障害者福祉法」(p.8)</p>
		d 知的障害者福祉法	<p>社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法—知的障害者福祉法」(p.21~22)、第7章 B-3-1「障害者福祉制度の成立と障害種別の格差」(p.179~180)</p> <p>看護関係法令：第8章 D-3-6「知的障害者福祉法」(p.241~242)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E 「精神障害と法制度」 (p.299~325)、[資料 2] 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (抄)」 (p.333~342) 公衆衛生 : 第 7 章 D-2-2 「地域での生活を支える制度」 (p.213~215) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-1 「障害者福祉制度の成立と障害種別の格差」 (p.179~180) 看護関係法令 : 第 4 章 B-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.133~140) 精神保健福祉 : 第 3 章 A-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法)」 (p.40~47)
		f 発達障害者支援法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-2-3 「発達障害者支援法」 (p.321) 公衆衛生 : 第 7 章 F-3-2 「就学支援」 (p.243~247) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-5 「発達障害者支援法の成立」 (p.182) 看護関係法令 : 第 8 章 D-3-7 「発達障害者支援法」 (p.242)
		g 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律 (障害者虐待防止法)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-2-1 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律 (障害者虐待防止法)」 (p.310) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-4-2 「障害者虐待防止法の成立」 (p.184) 看護関係法令 : 第 8 章 D-3-2 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」 (p.239) 精神保健福祉 : 第 8 章 B 「障害者虐待と精神保健福祉」 (p.253~265)
	D 児童にかかわる法と施策	a 児童福祉法	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 8 章 A 「児童福祉」 (p.168~173) 公衆衛生 : 第 7 章 A-1-2 「日本の母子保健の歩み」 (p.153~154) 社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-3-2 「福祉 6 法—児童福祉法」 (p.20~21)、第 7 章 C-2-1 「児童福祉法」 (p.200~201) 看護関係法令 : 第 8 章 B-1 「児童福祉法」 (p.227~230)
		b 児童虐待の防止等に関する法律	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 8 章 A 「児童福祉」 (p.170~176) 公衆衛生 : 7 章 A-5 「児童虐待防止のための母子保健活動」 (p.164~167) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 C-4-1 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.210~211) 看護関係法令 : 第 8 章 B-2-3 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.230) 精神保健福祉 : 第 4 章 B-2-1 「児童虐待への対応」 (p.87~89)
		c 母子及び寡婦福祉法 *「母子及び寡婦福祉法」の名称は「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に変更(平成 26.10.1~)	社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-3-2 「福祉 6 法—母子及び父子並びに寡婦福祉法」 (p.23) 看護関係法令 : 第 8 章 B-2-5 「母子及び父子並びに寡婦福祉法」 (p.231~232) 家族論・家族関係論 : 第 4 章 D-3 「少子化」 (p.133~135)
	E 高齢者にかかわる法と施策	a 老人福祉法	老年看護学 : 第 2 章 B-2-1 「保健医療福祉制度の変遷」 (p.36~39) 社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-3-2 「福祉 6 法—老人福祉法」 (p.22) 看護関係法令 : 第 8 章 C-1 「老人福祉法」 (p.232~233)
		b 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律 (高齢者虐待防止法)	老年看護学 : 第 2 章 C-2-6 「高齢者虐待防止法」 (p.58~60) 在宅看護論 : 第 4 章 E-6 「虐待」 (p.125~126)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>公衆衛生：第7章 C-7-6「介護者の健康、虐待予防」(p.204~205)</p> <p>社会保障・社会福祉：第4章 B-8「利用者の権利擁護」(p.113~114)</p> <p>看護関係法令：第8章 C-2-2「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」(p.234)</p>
	F その他の施策	<p>a 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律〈DV法〉</p> <p>b 少子化対策</p>	<p>社会保障・社会福祉：第7章 C2-4「DV対策」(p.204~205)</p> <p>看護関係法令：第9章 B-7「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」(p.258)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 A「児童福祉」(p.170~176)</p> <p>公衆衛生：第7章 A-1-3「日本の少子化対策」(p.155)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 C-3「少子化対策と子育て支援」(p.206~209)</p>
7 社会福祉行政	A 保健福祉計画	<p>a 子ども・子育て応援プラン</p> <p>b 障害者基本計画と障害者プラン</p>	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 A-1「児童の健全育成と子育て支援」(p.174~175)</p> <p>公衆衛生：第7章 A-1-3「日本の少子化対策」(p.155)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 C-3-2「少子化対策から次世代育成支援へ」(p.207)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 B-3-3「新障害者基本計画と新障害者プラン」(p.181)</p>
	B 社会福祉の民間活動	<p>a 民生委員、児童委員</p> <p>b 社会福祉協議会</p> <p>c ボランティア活動</p> <p>d 特定非営利活動促進法〈NPO法〉</p>	<p>公衆衛生：第3章 D-2「民生委員・母子保健推進員・健康推進員」(p.79)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-6「社会保障・社会福祉の従事者と担い手」(p.26~27)</p> <p>看護関係法令：第8章 A-3-2「民生委員法」(p.225)</p> <p>精神保健福祉：第4章 A-2-2内「専門機関・専門職以外のおもな関係機関・協力組織」(p.78)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-5-2「社会福祉協議会」(p.24~26)</p> <p>総合医療論：第7章 G-2「保健・医療・福祉におけるボランティア活動の意義」(p.188~189)</p> <p>社会保障・社会福祉：第8章 H-3「地域ケアシステムにおける他機関との連携」(p.256~257)</p> <p>精神保健福祉：第4章 A-2-2内「専門機関・専門職以外のおもな関係機関・協力組織」(p.78)</p> <p>公衆衛生：第3章 D-3「NPO・民間セクター」(p.79)</p> <p>社会保障・社会福祉：第8章 H-3「地域ケアシステムにおける他機関との連携」(p.256~257)</p>
	C 福祉の行政機関と施設	<p>a 福祉事務所</p> <p>b 児童相談所</p> <p>c 社会福祉施設</p> <p>d 在宅サービス機関</p>	<p>社会保障・社会福祉：第1章 B-5-1「社会福祉行政」(p.24)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 A-2「現在の児童福祉」(p.174~176)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法—児童福祉法」(p.20~21)、B-5-1「社会福祉行政」(p.24)、第7章 C-2-1「児童福祉法」(p.200~201)</p> <p>精神保健福祉：第4章 B-2-1「児童虐待への対応」(p.87~89)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15~18)</p> <p>在宅看護論：第3章 A「在宅看護のしくみ」(p.40~58)、第4章 A-4「生活を支える制度・支援体制の理解」(p.68~69)、C-3「介護保険の社会資源との連携」(p.96)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15~18)、第4章 B-5-6「居宅介護支援と介護予防支援」(p.100)、B-5-8「指定居宅サービス事業者と介護保健施設」(p.102~104)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	D 老人保健福祉行政の展開	a 老人福祉計画	<p>看護関係法令：第7章 A-4-5「事業者および施設の指定等」(p.215)</p> <p>精神保健福祉：第6章 B-3「介護サービス利用時の連携と看護」(p.183~186)</p> <p>老年看護学：第2章 B-2「保健医療福祉システムの構築」(p.39~50)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-2「福祉6法—老人福祉法」(p.22)、第4章 B-7「介護保険事業計画など」(p.112~113)、第7章 A-2「高齢者福祉の施策」(p.165~168)</p> <p>看護関係法令：第8章 C-1「老人福祉法」(p.232~233)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 A-2-5「高齢者の健康増進と社会参加促進対策」(p.168)</p> <p>老年看護学：第7章 A-1「介護予防と看護」(p.336~340)</p> <p>在宅看護論：第3章 A-2-3「介護予防」(p.47)</p> <p>公衆衛生：第7章 C-6-2「地域包括ケアを支えるもの」(p.198~200)、C-7-2「高齢者が介護を必要とする原因の予防」(p.201~202)</p> <p>社会保障・社会福祉：第4章 B-5-6「居宅介護支援と介護予防支援」(p.100)、B-5-10「地域支援事業」(p.105~107)</p> <p>看護関係法令：第7章 A-4「介護保険法」(p.209~216)</p>
		b 高齢者の生きがい対策	
		c 介護予防	

目標Ⅲ. 公衆衛生及び保健活動の進め方について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 健康と公衆衛生	A 公衆衛生の概念	a 公衆衛生の領域、活動の特徴	<p>公衆衛生：序章 A「みんなの健康」(p.2)、第1章 A「公衆衛生とはなにか」(p.14~16)</p> <p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 B-5「健康の実現：ヘルスプロモーション」(p.101~102)、第7章 A-5-1「プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション」(p.307~309)</p> <p>公衆衛生：第1章 D-1「プライマリヘルスケア」(p.32~34)</p>
		b プライマリヘルスケア	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 B-5「健康の実現：ヘルスプロモーション」(p.101~102)、第7章 A-5-1「プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション」(p.307~309)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章「ヘルスプロモーションと看護」(p.146~160)</p> <p>公衆衛生：第1章 D-2「ヘルスプロモーション活動」(p.34~40)</p>
		c ヘルスプロモーション	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 B-5「健康の実現：ヘルスプロモーション」(p.101~102)、第7章 A-5-1「プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション」(p.307~309)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章「ヘルスプロモーションと看護」(p.146~160)</p> <p>公衆衛生：第1章 D-2「ヘルスプロモーション活動」(p.34~40)</p> <p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 B「健康のとらえ方」(p.94~102)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-3「大人の健康」(p.57~62)</p> <p>総合医療論：第1章 B「健康とは」(p.19~23)</p> <p>公衆衛生：第1章 A-2「ヘルス(衛生・健康)とはなにか」(p.15~16)</p> <p>社会学：第5章 A「健康・病気の見方・とらえ方のうつりかわり」(p.74~76)、B「健康・病気の新しい見方ととらえ方」(p.76~84)</p>
		d 健康の概念	<p>公衆衛生：第5章 D「国際保健の担い手」(p.115~117)、E「国際保健の共通目標—ミレニアム開発目標(MDGs)」(p.117~119)</p>
	e 世界保健機関 (WHO) 加盟国の役割		
	B 健康と環境	a 生態学的環境	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)、第5章 A-1「環境」(p.163)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 物理化学的環境	<p>公衆衛生：第4章A「地球規模の環境と健康」(p.82～84)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48～49)、第5章A-1「環境」(p.163)</p> <p>公衆衛生：第4章A「地球規模の環境と健康」(p.82～84)</p>
		c 社会的環境	<p>医学概論：第4章A-2「病気の外因」(p.63～67)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章B-1「生活を営むこと」(p.28～30)</p> <p>公衆衛生：第4章A「地球規模の環境と健康」(p.82～97)、B「身のまわりの環境と健康」(p.97～107)</p> <p>医学概論：第4章A-2「病気の外因」(p.63～67)</p>
	C 疫学的方法による健康の理解	a 健康被害と母集団	<p>公衆衛生：第6章B「公衆衛生の場での疫学—集団をとらえる」(p.128～138)</p>
		b 疫学的因果関係の推定	<p>公衆衛生：第6章C-2「疫学的因果関係」(p.141～142)</p>
		c 臨床疫学とエビデンス	<p>総合医療論：第6章A「臨床疫学—医療における合理的判断」(p.142～148)</p> <p>公衆衛生：第6章E「エビデンスを使う、つくる」(p.143～145)</p>
9 健康指標と予防	A 健康に関連した指標	a 国勢調査	<p>公衆衛生：第6章B-3「健康指標の基礎資料—人口を把握する」(p.135～138)</p>
		b 人口静態	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-1-1「国民経済の現状」(p.40～43)</p> <p>公衆衛生：第6章B-3「健康指標の基礎資料—人口を把握する」(p.135～138)</p>
		c 出生	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章D-2「平均寿命と出生」(p.108～110)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第1章B-2「出生と家族」(p.9～12)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章A-2-1「出生に関する動向」(p.59～65)</p> <p>公衆衛生：第6章B-3「健康指標の基礎資料—人口を把握する」(p.135～138)</p>
		d 死亡・死因	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章D-9「老いと死」(p.120～126)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-2-1「生と死の動向」(p.49～51)</p> <p>公衆衛生：第6章B-3「健康指標の基礎資料—人口を把握する」(p.135～138)</p>
		e 死産、周産期死亡、乳児死亡	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章D-3「子どもの健康」(p.110～112)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第1章B-3「子どもの死亡」(p.12～15)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章A-2-2「死亡に関する動向」(p.65～73)</p> <p>公衆衛生：第6章B-3「健康指標の基礎資料—人口を把握する」(p.135～138)、第7章A-1-1「日本の母子保健統計の動向」(p.150～152)</p>
		f 平均余命、平均寿命	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章D-2「平均寿命と出生」(p.108～110)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-2-1「生と死の動向」(p.49～51)</p> <p>公衆衛生：第6章B-2-1「平均寿命、平均余命、健康寿命」(p.131～132)</p>
		g 健康寿命	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章E-2「健康寿命」(p.128～129)</p> <p>公衆衛生：第6章B-2-1「平均寿命、平均余命、健康寿命」(p.131～132)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		h 有病率・罹患率	公衆衛生：第6章 B-1「疾患の発生状況を把握する」(p.129~131)
	B 感染症とその予防	a 感染症の成立要因	病理学：第5章 A「感染と宿主の防御機構」(p.76~81) 微生物学：第6章「感染と感染症」(p.69~96)
		b 感染症の流行現象	病理学：第5章 B「おもな病原体と感染症」(p.82~87) 微生物学：第12章 B-1「新興・再興感染症」(p.200~201) 公衆衛生：第7章 G-3「公衆衛生上の重要な感染症とその対策」(p.261~271)
		c 感染症予防の基本	成人看護学 [11] (感染症)：第6章 A「感染予防」(p.322~351) 病理学：第5章 C「感染症の治療と予防」(p.88~92) 微生物学：第12章 C-3「感染予防の理念と実際」(p.206~208) 公衆衛生：第7章 G-2「院内感染とその予防」(p.259~261)
		d 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）	成人看護学 [11] (感染症)：第2章 A「感染症とはなにか」(p.210~212) 病理学：第5章 C-3「感染症法と検疫」(p.90) 微生物学：第12章 C-1「感染症法および関連する法律」(p.203~205) 公衆衛生：第7章 G-1「「感染症」とその予防対策」(p.252~259) 看護関係法令：第4章 C-1「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(p.152~162)
		e 院内感染とその予防	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第13章「感染防止の技術」(p.411~447) 成人看護学 [11] (感染症)：第6章 A「感染予防」(p.322~351) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第2章 C-2-3「院内感染対策」(p.43~48) 病理学：第5章 C-2「院内感染」(p.90) 微生物学：第12章 B-2「院内感染とその特徴」(p.202~203) 公衆衛生：第7章 G-2「院内感染とその予防」(p.259~261) 臨外看総：第6章 E「院内(病院)感染予防」(p.223~242)
		f 予防接種	成人看護学 [11] (感染症)：第6章 A-10「予防接種とワクチン」(p.342~351) 小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 D「予防接種」(p.183~190) 病理学：第5章 C-4「予防接種」(p.92) 微生物学：第12章 C-4「ワクチンと予防接種」(p.208~211) 公衆衛生：第7章 G-1-4「予防接種」(p.256~259) 看護関係法令：第4章 C-3「予防接種法」(p.163~167)
		g 結核予防	成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 A-4-6「予防」(p.163) 成人看護学 [11] (感染症)：第6章 A-10「予防接種とワクチン」(p.342~351) 病理学：第12章 B-2-1「肺結核症」(p.208~209) 公衆衛生：第7章 G-3-2「結核」(p.262~265) 看護関係法令：第4章 C-1-10「結核」(p.161)
		h ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症、後天性免疫不全症候群（AIDS）	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-7-3「性感染症」(p.179~180) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章 R「HIV感染症と日和見感染症」(p.310~315) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第6章-C「HIVに感染した女性に対する看護」(p.269~278)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		i 新型インフルエンザ	<p>病理学：第4章 B-4-2「続発性免疫不全症とエイズ」(p.60)</p> <p>微生物学：第16章 B-11-2「ヒト免疫不全ウイルス」(p.347~350)</p> <p>公衆衛生：第7章 G-3-3「エイズ、HIV感染症」(p.265~269)</p> <p>臨外看総：第1章 D-2-2中「HIV」(p.30)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策—健やかな生活をはぐくむために」内、「感染症対策」(p.69~71)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 A-2「インフルエンザ」(p.140~142)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症)：第5章 S「新興・再興感染症」(p.315~318)</p> <p>微生物学：第16章 B-1-1「A型・B型・C型インフルエンザウイルス」(p.321~325)</p> <p>公衆衛生：第7章 G-3-1「新型インフルエンザ」(p.261~262)</p> <p>看護関係法令：第4章 C-2「新型インフルエンザ等対策特別措置法」(p.162~163)</p>
10 生活環境の保全	A 地球環境	a 地球温暖化	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)</p> <p>公衆衛生：第4章 A-1「地球温暖化」(p.84~86)</p>
		b オゾン層の破壊	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)</p> <p>公衆衛生：第4章 A-2「オゾン層の破壊」(p.86~88)</p>
		c アスベスト、放射性物質	<p>公衆衛生：第4章 A-5「大気汚染」(p.92~94)、A-7「放射性物質」(p.95~97)</p>
		d 水質汚染	<p>公衆衛生：第4章 A-4「水質汚濁」(p.89~92)</p>
		e 大気汚染	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)、第5章 C-6-3「大気・空気・紫外線の問題」(p.177)</p> <p>公衆衛生：第4章 A-5「大気汚染」(p.92~94)</p>
		f 土壌汚染	<p>公衆衛生：第4章 A-5「土壌汚染」(p.94~95)</p>
	B 食品管理および家庭用品	a 食品安全確保対策	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)、第5章 C-6-1「食品の安全性確保」(p.177)</p> <p>公衆衛生：第4章 B-2「食品管理—食品安全確保対策、食品衛生管理制度」(p.99~102)</p> <p>看護関係法令：第4章 D-1「食品安全基本法」(p.167)</p>
		b 食品衛生管理制度	<p>公衆衛生：第4章 B-2「食品管理—食品安全確保対策、食品衛生管理制度」(p.99~102)</p> <p>看護関係法令：第4章 D-2「食品衛生法」(p.167~169)</p>
		c 家庭用品の安全対策	<p>公衆衛生：第4章 B-3「家庭用品の安全対策」(p.102~103)</p>
	C ごみ・廃棄物	a 一般廃棄物と産業廃棄物	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-6-4「廃棄物処理」(p.177~178)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第3章 F-5「廃棄物の取り扱いと管理」(p.127~128)</p> <p>公衆衛生：第4章 B-4-1「一般廃棄物と産業廃棄物」(p.103)</p> <p>看護関係法令：第10章 B-11「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(p.275~276)</p>
		b 市町村と企業の責任	<p>公衆衛生：第4章 B-4-2「廃棄物処理—市町村と企業の責任」(p.103~104)、B-4-3「医療廃棄物」(p.104~105)</p>
		c 生活排水処理	<p>公衆衛生：第4章 B-4-4「生活排水処理」(p.105~106)</p>
D 住環境	a バリアフリー	<p>公衆衛生：第4章 B-5「バリアフリー」(p.106~107)</p> <p>看護関係法令：第9章 B-6「高齢者、障害者等の異動等の円滑化の促進に関する法律」(p.257~258)</p>	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所		
11 保健活動	A 地域保健	b 室内空気汚染と健康問題	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 5 章 C-6-2 「居住環境」 (p.177) 成人看護学 [11] (アレルギー) : 第 2 章 C-2 「アレルゲンの種類」 (p.24~25) 公衆衛生 : 第 4 章 B-1 「室内環境」 (p.98~99)		
		a 地域保健法の理念と指針	公衆衛生 : 第 3 章 A 「政策展開」 (p.64~74) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 B-2-3 「地域保健対策の展開」 (p.48) 看護関係法令 : 第 4 章 A-1 「地域保健法」 (p.128~129)		
		b 健康日本 21	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-2 「保健にかかわる対策—健やかな生活をはぐくむために」 (p.63~72) 公衆衛生 : 第 3 章 A-3-2 「健康日本 21」 (p.67~68)、第 7 章 B-2 「健康づくり対策の変遷」 (p.176~179) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 B-2-2 「健康づくり対策の展開」 (p.47~48)		
		c 健康増進法	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-2 「保健にかかわる対策—健やかな生活をはぐくむために」 (p.63~72) 公衆衛生 : 第 3 章 A-3-2 「健康日本 21」 (p.67~68)、第 7 章 B-3 「健診・検診」 (p.179~181) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 B-2-2 「健康づくり対策の展開」 (p.47~48) 看護関係法令 : 第 4 章 A-2 「健康増進法」 (p.131~133)		
		d 市町村保健センター	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-2 「地域における看護」 (p.222~229) 公衆衛生 : 第 3 章 B-3-2 「市町村保健センター」 (p.73~74) 看護関係法令 : 第 4 章 A-1-4 「市町村保健センター」 (p.131) 精神保健福祉 : 第 4 章 A-2-2 「支援システムを構成するおもな社会資源」 (p.75~78)		
	B 母子保健	e 保健所	e 保健所	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-2 「地域における看護」 (p.222~229) 公衆衛生 : 第 3 章 B-3-1 「保健所」 (p.72~73) 看護関係法令 : 第 4 章 A-1-3 「保健所」 (p.129~131) 精神保健福祉 : 第 4 章 A-2-2 「支援システムを構成するおもな社会資源」 (p.75~78)	
			a 母子保健法	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 8 章 B 「母子保健」 (p.176~181) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-3-2 「母性看護に関するおもな法律」 (p.75~76) 公衆衛生 : 第 7 章 A-1-2 「日本の母子保健の歩み」 (p.153~154)、A-2 「母子保健の理念としくみ」 (p.155~158) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 C-2-2 「母子保健法と母子保健施策—母子保健法」 (p.201~203) 看護関係法令 : 第 4 章 B-2 「母子保健法」 (p.140~142)	
		b 母子健康手帳	b 母子健康手帳	b 母子健康手帳	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 8 章 B-2-1 「母子保健手帳」 (p.178~179) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-4-1 「妊産婦と乳幼児に対する支援」 (p.77~81) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 3 章 D-1-1 「妊娠の届出と母子健康手帳の交付」 (p.126~127) 公衆衛生 : 第 7 章 A-3-1 「妊娠届および母子健康手帳の交付」 (p.158~159) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 C-2-2 「母子保健法と母子保健施策—母子保健法」 (p.201~203) 看護関係法令 : 第 4 章 B-2 「母子保健法」 (p.140~142)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 保健指導・訪問指導	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-4-1 「妊産婦と乳幼児に対する支援」 (p.77~81)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-1 「妊婦が受ける母子保健サービス」 (p.126~130)、第6章 D 「施設退院後の看護」 (p.351~354)</p> <p>公衆衛生 : 第7章 A-3 「母体保護のための母子保健活動 (妊娠期の支援)」 (p.158~160)、A-4 「育児支援のための母子保健活動」 (p.160~164)、A-5 「児童虐待防止のための母子保健活動」 (p.164~167)、A-6 「親性をはくくむ母子保健活動 (思春期含む)」 (p.167~169)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第7章 C-2-2 「母子保健法と母子保健施策—母子保健法」 (p.201~203)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 B-2 「母子保健法」 (p.140~142)</p>
		d 健康診査・健康教育	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-4-1 「妊産婦と乳幼児に対する支援」 (p.77~81)</p> <p>公衆衛生 : 第7章 A-3-2 「妊産婦保健指導・訪問指導、妊婦健康診査」 (p.159~160)、A-4-2 「乳幼児健康診査」 (p.161~162)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第7章 C-2-2 「母子保健法と母子保健施策—母子保健法」 (p.201~203)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 B-2 「母子保健法」 (p.140~142)</p>
		e 児童虐待防止	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第8章 A-2-2 「虐待防止」 (p.175)、(小児臨床看護総論) 第8章 「子どもの虐待と看護」 (p.492~504)</p> <p>総合医療論 : 第3章 F-2-1 「児童虐待」 (p.91~92)</p> <p>公衆衛生 : 第7章 A-5 「児童虐待防止のための母子保健活動」 (p.164~167)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第7章 C-4-1 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.210~211)</p> <p>看護関係法令 : 第8章 B-2-3 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.230)</p> <p>精神保健福祉 : 第4章 B-2-1 「児童虐待への対応」 (p.87~89)</p>
		f 母体保護法	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-3-2 「母性看護に関するおもな法律」 (p.75~76)</p> <p>公衆衛生 : 第7章 A-6-1 「思春期保健対策」 (p.167~168)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 B-3 「母体保護法」 (p.142~143)</p>
	C 精神保健	a 精神保健対策の制度の変遷	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 B 「日本における精神医学・精神医療の流れ」 (p.279~288)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第1章 B-1 「社会福祉の法制度の歴史的展開」 (p.12~15)、第7章 B-3 「障害者福祉制度の変遷」 (p.177~181)</p> <p>精神保健福祉 : 第2章 A 「わが国の精神保健福祉の変遷」 (p.12~33)、第3章 「精神保健福祉に関する法律と施策」 (p.40~63)</p>
		b 精神障害者(児)の医療	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 E-2-2 「医療を受けるための法律と制度」 (p.310~314)</p> <p>公衆衛生 : 第7章 D-3 「精神障害者の医療」 (p.218~220)</p>
		c 精神障害者(児)の福祉	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 E-2-3 「生活を支えるための法律と制度」 (p.314~321)</p> <p>公衆衛生 : 第7章 D-2 「地域生活を支えるためのしくみ」 (p.212~218)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第7章 B 「障害者福祉」 (p.171~198)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 B-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.133~140)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d こころの健康と自殺対策	<p>精神保健福祉：第3章「精神保健福祉に関する法律と施策」(p.40～63)、第4章「精神保健福祉活動の展開に必要な知識と技術」(p.66～120)、第5章「地域移行支援・地域生活支援の基礎」(p.122～156)、第6章「地域移行支援の展開」(p.158～204)、第7章「地域生活支援の展開」(p.206～241)、第8章「特定の状況に対する精神保健福祉」(p.244～289)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：序章1「『心のケア』と現代社会」(p.2～4)</p> <p>公衆衛生：第7章D-4「自殺と自殺予防対策」(p.220～223)</p>
		e 発達障害	<p>精神保健福祉：第4章B-2-3「自殺対策」(p.93～96)</p> <p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第18章B-2「発達障害」(p.494～498)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章C-10「心理的発達の障害」(p.216～218)、第6章E-2-3「発達障害者支援法」(p.321)</p> <p>公衆衛生：第7章F-2-2「就学支援」(p.243～247)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章B-3-5「発達障害者支援法の成立」(p.182)、B-5-1「特別支援教育」(p.188～190)</p> <p>看護関係法令：第8章D-3-7「発達障害者支援法」(p.242)</p>
	D 学校保健	a 学校保健安全法	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章E「学校保健」(p.190～195)</p> <p>公衆衛生：第8章A-1「学校保健が目ざすもの」(p.279～286)</p> <p>看護関係法令：第4章B-4「学校保健安全法」(p.143～145)</p>
		b 健康診断・健康相談	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章E-2「健康診断」、E-3「健康相談」(p.191～194)</p> <p>公衆衛生：第8章B「学校保健の展開」(p.291～297)</p> <p>看護関係法令：第4章B-4「学校保健安全法」(p.143～145)</p>
		c 感染予防	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第11章D-2-4「感染予防」(p.304～306)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章E-4「感染予防」(p.194)</p> <p>公衆衛生：第8章B-2「感染症の予防と対策」(p.292～294)</p> <p>看護関係法令：第4章B-4「学校保健安全法」(p.143～145)</p>
		d 学校環境衛生	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章E「学校保健」(p.190～195)</p> <p>公衆衛生：第8章A-1-4「学校保健の構造」(p.280～284)</p> <p>看護関係法令：第4章B-4「学校保健安全法」(p.143～145)</p>
	E 生活習慣病の予防	a 主な生活習慣病の現状	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-2-3「生活習慣病」(p.51～53)</p> <p>公衆衛生：第7章B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)</p>
		b 栄養・運動・休養	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-1-2「日常生活の状況」(p.43～48)、第5章C-4「身体活動量低下と運動不足」(p.173～175)</p> <p>公衆衛生：第7章B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)</p>
		c 喫煙・飲酒対策	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-1-2「日常生活の状況」(p.43～48)、第5章C-2「飲酒がもたらす健康問題」(p.171～172)、C-3「喫煙と健康問題」(p.172～173)</p> <p>公衆衛生：第7章B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 健康教育と早期発見	精神保健福祉：第8章C「物質依存と精神保健福祉」(p.265~279) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章「健康生活をはぐくむ看護」(p.146~160) 公衆衛生：第7章B-1-1「疾病予防」(p.175~176)、B-6「健康教育」(p.186~189) 医学概論：第8章D「予防的定期的総合健診の意義」(p.133~137)
		e 循環器疾患の予防	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章「健康生活をはぐくむ看護」(p.146~160) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章A-3「冠状動脈硬化の危険因子」(p.143~149) 公衆衛生：第7章B-4「生活習慣病対策」(p.181~184)
		f 糖尿病の予防	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章「健康生活をはぐくむ看護」(p.146~160) 公衆衛生：第7章B-4「生活習慣病対策」(p.181~184)
		g 特定健康診査、特定保健指導	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-2「保健にかかわる対策—健やかな生活をはぐくむために」(p.63~72) 公衆衛生：第7章B-4-2「特定健康診査・特定保健指導」(p.183~184) 社会保障・社会福祉：第2章B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.47~48)
F	がん対策	a がん対策基本法	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-2「保健にかかわる対策—健やかな生活をはぐくむために」(p.63~72) 公衆衛生：第7章B-5「がん対策」(p.184~186) 看護関係法令：第4章B-5「がん対策基本法」(p.145~146) がん看護学：第1章B「がん医療が直面する課題と施策」(p.14~17) 緩和ケア：第1章D「わが国のがん対策と緩和ケア」(p.10~11)
G	難病対策	a 特定疾患治療研究事業	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第7章C-1「セルフマネジメントの支援」(p.213~215) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章A-5-3「在宅療養支援態勢」(p.239~242) 成人看護学 [11] (膠原病)：第1章A-2「医療の動向と看護」(p.90~92) 公衆衛生：第7章F-3-5「医療支援」(p.248~249) 社会保障・社会福祉：第3章F「公費負担医療」(p.81~82)
H	職場の健康管理	a 労働安全衛生法	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.157~160) 公衆衛生：第9章A-1-1「労働者の健康問題と労働関連法令の変遷」(p.304~305)、A-2-1「労働安全衛生法」(p.310) 看護関係法令：第9章A-2「労働安全衛生法」(p.248~250)
		b 健康管理・職業病の予防	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.157~160)、第5章C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.169~171) 公衆衛生：第9章「職場と健康」(p.302~321) 看護関係法令：第9章A-2「労働安全衛生法」(p.248~250) 医学概論：第8章B-5「労働衛生」(p.129~130)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c トータル・ヘルスプロモーション	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 4 章 B 「ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動」 (p.155~160) 公衆衛生 : 第 9 章 A-2-2 「労働安全衛生法」に基づく健康管理の実際」 (p.311~313) 医学概論 : 第 8 章 B-5 「労働衛生」 (p.129~130)
		d 作業環境・作業環境管理	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 4 章 B-2 「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」 (p.157~160) 公衆衛生 : 第 9 章 A-3 「職場の健康管理体制」 (p.313~316)
		e ワーク・ライフ・バランス	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 B-2-3 「ワークライフバランス」 (p.33~34) 公衆衛生 : 第 9 章 C 「産業保健における今後の課題と新たな動き」 (p.319~321) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-5-4 「仕事と余暇ワーク・ライフ・バランス」 (p.44) 社会学 : 第 7 章 D 「仕事と生活の調和」 (p.117~120)

目標Ⅳ. 人々の健康を守るためのサービス提供機関及び従事者の役割・機能に関する法律について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
12 医療機関と医療従事者の職務の機能と役割	A 保健師助産師看護師法	a 目的・定義	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-1 「保健師助産師看護師法」 (p.149~152) 看護関係法令 : 第 2 章 A-1 「目的」 (p.22)、A-2 「定義」 (p.23~24)
		b 免許	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-1 「保健師助産師看護師法」 (p.149~152) 看護関係法令 : 第 2 章 A-4 「免許」 (p.25~29)
		c 業務	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-1 「保健師助産師看護師法」 (p.149~152) 看護関係法令 : 第 2 章 A-5 「業務」 (p.29~31) 臨外看総 : 第 5 章 A-4 「看護師の業務」 (p.191)
		d 守秘義務	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-1 「保健師助産師看護師法」 (p.149~152) 看護関係法令 : 第 2 章 A-7 「義務」 (p.32~36) 臨外看総 : 第 5 章 A-5-2 「守秘義務」 (p.194~195)
		e 業務従事者届	看護関係法令 : 第 2 章 A-7 「義務」 (p.32~36)
	B 医療関係法規	a 医療法	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 C-1-3 「衛生法規」 (p.234~240) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-3 「医療にかかわる対策—健康への多様なニーズへの対応」 (p.72~74) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 4 章 B-3-3 「医療法」 (p.158) 看護関係法令 : 第 3 章 A-3 「医療法」 (p.61~83)
		b 医師法	看護関係法令 : 第 3 章 A-1 「医師法」 (p.56~60)
		c 歯科医師法	看護関係法令 : 第 3 章 A-2 「歯科医師法」 (p.60~61)
		d 薬剤師法	看護関係法令 : 第 3 章 B-1 「薬剤師法」 (p.83~85)
		e 診療放射線技師法	看護関係法令 : 第 3 章 B-2 「診療放射線技師法」 (p.85~86)
		f 臨床検査技師等に関する法律	看護関係法令 : 第 3 章 B-3 「臨床検査技師等に関する法律」 (p.86~88)
		g 理学療法士及び作業療法士法、言語聴覚士法	看護関係法令 : 第 3 章 B-4 「理学療法士及び作業療法士法」 (p.88~89)、B-6 「言語聴覚士法」 (p.91~92)
		h 社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法	社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-6 「社会福祉の従事者と担い手」 (p.26~27)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			看護関係法令：第3章 C-2「精神保健福祉士法」(p.108～109)、C-3「社会福祉士及び介護福祉士法」(p.109～112)
	C 医療サービスの供給体制	a 医療計画	公衆衛生：第3章 A-3-1「医療計画」(p.66～67) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-1「医療提供体制の特色と課題」(p.47) 看護関係法令：第3章 A-3-10「医療計画等医療提供体制の確保」(p.78～80)
		b 医療施設の機能	総合医療論：第3章 A-2「診療所と病院」(p.60～65) 看護関係法令：第3章 A-3「医療法」(p.61～83)
		c 救急医療の充実	総合医療論：第3章 A-1「救急医療と蘇生術」(p.58～60) 救急看護学：第1章「救急看護の概念」(p.2～46) 総合医療論：第5章 G「インフォームド・コンセントと医療情報の開示」(p.132～138)
		d 診療記録、情報公開	看護関係法令：第3章 A-3-8「診療に関する諸記録等」(p.76～77)
		e 在宅医療	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 C-5「在宅療養を可能にする連携と継続的なかわり」(p.60～62) 在宅看護論：第3章 A「在宅看護のしくみ」(p.40～58)
		f 訪問看護ステーション	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 B-2-2「地域における看護」(p.222～229) 在宅看護論：第3章 A-4「訪問看護制度」(p.50～58)
		g 助産所	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 B-2-1「医療施設における看護」(p.217～222) 看護関係法令：第3章 A-3「医療法」(p.61～83)
		h 医薬品と医療用具の取り扱い	看護関係法令：第5章 A-1「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(p.172～180)
		i 毒薬・劇薬の取り扱い	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 A-2-2「薬の管理」(p.276～277) 薬理学：第1部 第1章 F-1「医薬品に関する法律」(p.58) 看護関係法令：第5章 A-1-8「医薬品等の取扱い」(p.178)
		j 安全管理〈セーフティマネジメント〉	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 E「医療安全と医療の質保証」(p.276～287) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 E-2「リスクマネジメント」(p.118～119) 在宅看護論：第4章 D「在宅における安全性の確保」(p.102～119) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：序章「医療安全を学ぶことのたいせつさ」(p.2～6)、第1章「事故防止の考え方を学ぶ」(p.8～36) 総合医療論：第6章 B「患者の安全」(p.148～154) 看護関係法令：第2章 A-10「医療過誤」(p.39～41) 臨外看総：第5章 A-6「医療事故」(p.196～198)
	D 看護職員の確保・労働と関係法規	a 労働基準法	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-1-4「看護職者の労働にかかわる法」(p.239～240) 看護関係法令：第9章 A-1「労働基準法」(p.244～248)
		b 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律〈育児・介護休業法〉	看護関係法令：第9章 A-5「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」(p.251～253)
		c 看護師等の人材確保の促進に関する法律	看護関係法令：第2章 B「看護師等の人材確保の促進に関する法律」(p.51～53)